

PEGの観察ポイント



監修：ふきあげ内科胃腸科クリニック院長 蟹江治郎（かにえじろう）先生

PEGにトラブルがないか、頻回に観察しましょう。

様

PEGの種類：バルーン型チューブ・バルーン型ボタン・バンパー型チューブ・バンパー型ボタン

- 1 栄養剤が瘻孔周囲から漏れていませんか はい いいえ
- 2 皮膚が赤くなったり、ただれていませんか はい いいえ
- 3 ストッパーを締めつけすぎていませんか
(ストッパーと皮膚の間に指が1本入るぐらいが目安です) はい いいえ
- 4 栄養剤を注入後、嘔吐が目立ちませんか はい いいえ
- 5 栄養剤を注入後、下痢が目立ちませんか はい いいえ
- 6 チューブ内が栄養剤で汚れていませんか はい いいえ

「はい」の項目がある場合は、
本文「PEGの主な合併症（後期）と予防法」を
参考に管理の仕方を工夫しましょう。



-žμ»¿Ñ

1&(w,ŠqëF g

チューブタイプカテーテル

ë FN « Ö™ x – s z Ž < w ^ À › æ M ‡ ` • O {

£ w ° 0 ú w ½ á ” Ò • w o v › w W z ½ á ” Ò ° › Z ? t - m \ q U 8 4 p V ‡ b {

